Q & A

ケトルが作動しない または沸騰前に止まってしまう	● 電源プレートのプラグがコンセントにきちんと差し込んであるか、またコンセントを単独で使用しているかを確認します。 ● ケトルを空だきすると、空だき防止の安全装置が作動してヒーター部への通電が自動的に切れます。その場合は、ケトル本体を電源プレートから外し、熱を冷ましてから水を入れます。 スイッチを入れて通常どおり作動させてしばらくすると、湯を沸かし始めます。
お湯を沸かすと プラスチックくさい	● プラスチック製電気製品（本製品）は、一般的にプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいが出ます。
水が漏れる コード、電源プラグ、 電源プレートに損傷が見られる	● 修理の依頼は弊社お客様相談センターにご連絡ください。

製品仕様

電気ケトル Idilys plus 1L （イディリスプラス 1L）	
定格電圧：100V	重量 （全体）：約936g
定格消費電力：1250W	サイズ(全体 幅 x 奥行き x 高さ） 21.0cm x 17.1cm x 20.5cm
最大容量：1L	コードの長さ：約1.3m

※仕様・デザイン・価格等は変更になることがありますのでご了承ください。
※本製品は中国製です。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミューズビル

お客様相談センター


0570-077772
受付時間：月～金10:00～17:00（土･日･祝日を除く）

部品注文センター


0570-086072
受付時間：月～金10:00～16:00（土･日･祝日を除く）
※全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。

0828094

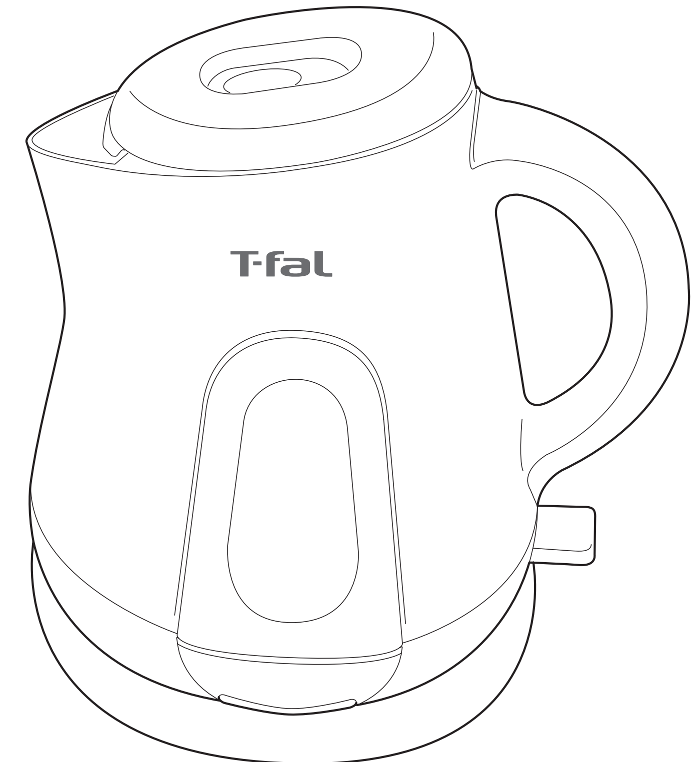
取扱説明書/保証書

T-fal
ティファール

ティファール電気ケトル

iDiLYS+

イディリスプラス 1L



●お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
●読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

必ずお守りください



定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。
他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。
●延長コードも定格15Aのものを単独でお使いください。

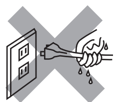




異常時（こげ臭い、発煙など）は、直ちにプラグを抜き、使用を停止してください。
●ショートや発火する恐れがありますので、弊社お客様相談センターまでご相談ください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。
●感電の原因になります。



お取り扱い



修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改善は行なわないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。●修理は弊社お客様相談センターにご相談ください。



ケトル本体の底部や電源プレートを水につけたり、水に濡らしたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わないでください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。

maxi（満水）目盛り以上の水を入れないでください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。

湯沸かし中や保温中は、ふたを確実に閉めてください。ふたを開けたまま使用しないでください。
湯が流れ出てやけどをすることがあります。

ケトルを転倒させないでください。湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

ケトルを傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しないでください。湯が流れ出てやけどをすることがあります。

注ぎ口をふきんなどでふさがないでください。湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。

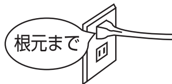
直火（ガス台など）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せないでください。
火災の原因になります。

電源・コード



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
●プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ・緩んだコンセントは使わないでください。





コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。
傷付けたり、加工したり、熱機具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
●コード・プラグの修理は、弊社お客様相談センターにご相談ください。

絵表示の例



⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が表記されています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が表記されています。



注意 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。

お取り扱い



不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等可燃物の近くで使わないでください。
火災の原因になります。

壁や家具の近くで使わないでください。蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わないでください。本体のプラスチック部分が熱で損傷することがあります。

湯沸かし中は、移動させないでください。湯が流れ出たり、蒸気でやけどをすることがあります。

湯沸かし中や湯沸かし直後、また保温中は本体外側が熱くなります。特に湯沸かし中は注ぎ口などから熱い蒸気が出ますので、ふたを開けたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。
やけどの原因になります。

ケトル本体に水が入っていないときは、スイッチをONにしないでください。故障の原因になります。

牛乳を沸かす、紅茶を煮出す、スープを作るなど、湯沸かし以外の目的で使用しないでください。
また、瓶やカップなど、水以外のものを製品の中に入れないでください。故障や汚れの原因になります。

専用の電源プレート以外は使わないでください。また、電源プレートは他の機器に転用しないでください。
発火、故障などの原因になります。

電源プレート中央の接続部（金属部）にピンを差し込んだり、ゴミを付着させないでください。
感電、ショート、発火の原因になります。

電源・コード



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

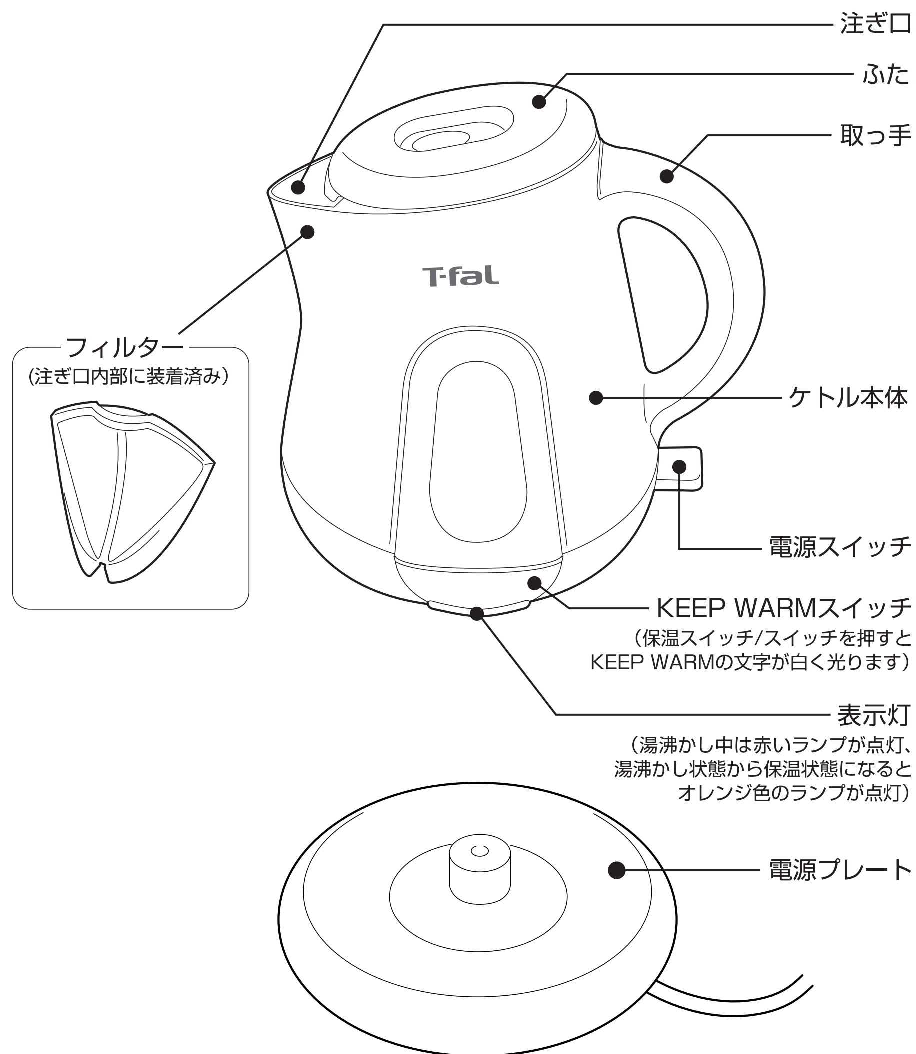


電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

注意　●本製品は湯沸かし専用にお使いください。水以外のものは沸かさないでください。

注意　●本製品は一般家庭用です。

各部の名称



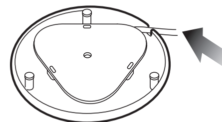
- 本製品は、ケトル本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して自動的に通電が切れます。

注意　●注ぎ口にフィルターがきちんとセットされていることを確認してください。フィルターをセットしないと、お湯が沸いてもスイッチが切れない場合があります。

ご使用の前に

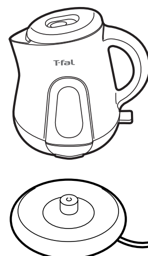
1 コードをセットする

コードは電源プレート裏側に巻きつけて長さを調節し、電源プレートの切り込みにコードをきちんとセットしてください。



2 電源プレートを置く

電源プレートは清潔で平らなところに置きます。



注意　●本製品には付属の電源プレート以外は使用しないでください。

3 ふたの開け方、閉め方



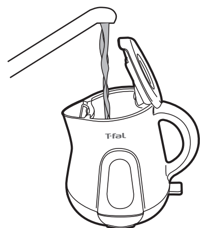
＜開け方＞

開け方
ケトル本体の取っ手を持って、ふたの手がかり部分にあるボタンを押しながら、注ぎ口側から取っ手側の方へ引き上げます。

閉め方
ふたがカチッというまでしっかり上から押してください。固くて閉まりづらい場合は、ふたの手がかり部分にあるボタンを押しながら閉めてください。

1 水を入れる

ケトル本体に必要な量の水を入れてふたを閉めます。



注意
●初めてケトルを使用する際は、最初の2－3回は念のためにすすいでからご使用ください。
●電源プレートの上に本体を載せた状態のままで水を注ぐことはおやめください。
●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは、水に含まれるミネラル成分がケトル内部に付着しやすくなります。
●水を入れすぎますと、ふきこぼれる恐れがありますので、maxi（満水）以上は水を入れないでください。また、水を入れないまま、空だきをしないでください。故障の原因になります。
●ふたがきちんと閉まっているのを確認してください。ふたがきちんと閉じていないとお湯が沸いてもスイッチが切れない場合があります。
●注ぎ口にフィルターがきちんとセットされていることを確認してください。フィルターをセットしないと、お湯が沸いてもスイッチが切れない場合があります。

2 電源プレートへのセット

ケトル本体を電源プレートに正しくセットします。

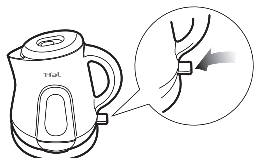
3 コンセントにつなぐ

電源プレートのプラグをコンセントに差し込みます。

注意
●定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。
他の機器と併用すると、発熱による火災、故障の原因になります。

4 電源を入れる

取っ手下部にある電源スイッチを押し下げて電源を入れます。
湯沸し中は表示灯が赤く点灯します。



<電源スイッチを押す>

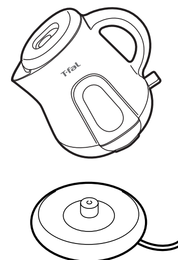
注意
●湯沸かし中または湯沸かし直後は本体が熱くなります。また注ぎ口などから熱い蒸気が出ますので、ふたを開けたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどの原因になります。

お湯が沸騰すると電源スイッチは自動的に切れます。
＊お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
＊お湯が沸く前に電源を切る場合は、電源スイッチを指で押し上げてOFFにしてください。

5 お湯を注ぐ

沸騰状態がおさまってからお湯を注ぎます。

●電源スイッチがOFFになっているか確認し、電源プレートからはずしてお湯を注ぎます。

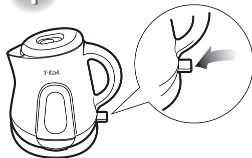


注意
●沸騰直後にふたを開けないでください。やけどをすることがあります。

お知らせ
●湯沸かし中または湯沸かし直後に、取っ手が部分的に、また個人差により、多少熱さを感じることもあります。
●ケトル使用後しばらくすると、カチンッと音がすることがありますが、これは熱せられたプラスチックや金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。安心してお使いください。
●電気ケトルは蒸気を感知してスイッチが切れる仕組みになっています。この蒸気が、取っ手の下から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。

保温する

1 電源を入れる





取っ手下部にある電源スイッチを押して電源を入れます。
湯沸かし中は赤いランプが点灯します。

> **注意**　●湯を沸かしている最中は絶対にふたを開けたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをすることがあります。

2 保温を選ぶ



湯沸かし中（赤いランプが点灯中）に、本体正面のKEEP WARMスイッチをしっかり押します。
KEEP WARMの文字が白く点灯します。
お湯が沸騰すると電源スイッチが上がります。赤いランプからオレンジ色のランプに点灯が変わり、保温状態になったことをお知らせします。保温温度は約80度です。沸騰しスイッチが上がってから60分経つと、ケトルは自動で通電が切れ、KEEP WARMの文字が消灯し、保温が止まります。

> **注意**　●保温中は本体外側が熱くなりますので取り扱いの際はご注意ください。やけどの原因になります。

> **お知らせ**　●保温中は約55Wの消費電力で温めています。

保温の止め方
保温は、KEEP WARMスイッチを押すことでいつでも止めることができます。

もう一度保温する
保温中にお湯をカップ等に注ぎ、ケトルを電源プレートに戻しても、自動で保温状態にはなりません。もし続けて保温するときは、KEEP WARMスイッチを再度押してください。新たに40分間、保温することができます。その際は、KEEP WARMの文字のみが白く点灯します。

なお、保温中にお湯を注ぎ、ケトルに新たに冷たい水を加えて電源プレートに戻した場合、自動で再沸騰はしませんので、電源スイッチを押し下げて、一度沸騰させ保温を選んでください。

使い終わったら

・ご使用後は、水あかの付着を抑えるため、お湯を残さず、ケトル内部を空にしてください。
・ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

> **お知らせ**　●電源プラグやコードが部分的に、また個人差により、多少温かさを感じることもあります。

お手入れの方法 ●長期間清潔にご使用いただくため 定期的にお手入れをしてください

本体外側のお手入れ

●必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってください。

●やわらかい布で拭いてください。がんこな汚れにはぬらした布に中性洗剤を含ませて擦り、拭き取ってください。

●故障の原因になりますので、ケトル本体と電源プレートを水に浸けることは絶対におやめください。

●磨き粉や金属タワシ、漂白剤などを使うと傷がついたり変色する恐れがありますので、ご使用はおやめください。

フィルターの洗浄

フィルターのタブを持って引き抜き、 水洗いしてください。洗浄後は乾かして再度しっかりセットします。フィルターをセットしないと、お湯が沸いてもスイッチが切れない場合があります。

本体内側のお手入れ

汚れが目立ってきましたら定期的にお手入れをしてください。なお、本体内側の汚れ（白い浮遊物、虹色などの変色、赤さび状のはん点など）は、本来水に含まれるミネラル成分の作用によるもので衛生上問題ありませんのでご安心ください。

●通常のお手入れ

水でよくすすいでください。その後乾いたふきんなどでしっかりと拭いてください。

●汚れが落ちにくい場合—クエン酸を使って

1. 水をmaxi（満水）まで入れ、その中にクエン酸（15g程度）を入れて、かき混ぜます。
2. ふたを閉めて沸騰させ、その後、約一時間放置します。
3. お湯を捨て、水で充分にすすぎます。
4. クエン酸のにおいが気になるようでしたら、水だけを入れて再度通常どおり沸騰させてお湯を捨ててください。

※ 表面に傷がつきますのでステンレス部分を強くこすらないでください。